

## 教育研究業績書記載要領（助手採用）

○文字のフォントは「MS明朝」、サイズは「9ポイント」（氏名は10ポイント）で作成してください。

○年月日は全て和暦、項目は時系列順（過去→現在）に記入してください。

### 1 「年月日」欄

年月日は**和暦**で作成日を記入してください（他の項目も**和暦**で統一）。

### 2 「氏名」欄

(1) 自署の上、押印してください。

(2) 本名を記入してください。アーティスト名や旧姓等の通称名を使用している場合は、（ ）書きで併記してください。

【例】本名が秋田美子、通称名が新屋美子の場合は、「秋田美子（新屋美子）」

### 3 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」欄

(1) 「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「審査区分表」の小区分レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、同表の小区分に付随する内容の例を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。なお、小区分レベルに該当がない場合は、表中のワードを参考に適宜記入してください。

科学研究費補助金の「審査区分表」については、日本学術振興会のWebページを参照してください。

[https://www.jspss.go.jp/j-grantsinaid/02\\_koubo/shinsakubun.html](https://www.jspss.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/shinsakubun.html)

### 4 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」欄

(1) 「事項」の項

各区分に該当する専門分野に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を、**過去から現在まで簡潔に**記入してください。

(2) 「年月日」の項

当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。

(3) 「概要」の項

当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。

(4) 「教育上の能力に関する事項」の例

ア 「1 教育方法の実践例」

- ① 優れた教育方法の実践例、ICT を活用した授業方法、授業外における学習を促進する取組み、授業内容の Web での公開等
- ② 教育機関や社会人講座、企業研修等での教育経験

イ 「2 作成した教科書、教材」

- ① 作成した教科書、教材や、授業で教科書として使用している著書、教材等の概要  
※研究実績の「著書、学術論文」との重複も可。その場合「再掲」と表示。

ウ 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」

- ① 各大学における自己点検・評価の一環として教育面で高い評価を受けた事実（具体的事由と評価の内容）
- ② 採用決定の際等における教育上の能力に関する評価
- ③ 学生による授業評価、教員同士の相互評価等をまとめたもの
- ④ 学外の評価機関等が行った評価
- ⑤ 上記以外で、学長、学部長、学内諸機関等が行った客観的な評価

エ 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」

- ① 大学から受け入れた実習生等に対する指導
- ② 職能団体の依頼による研修指導等
- ③ 企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修
- ④ 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等
- ⑤ その他、企業内教育、所属機関や関係機関等において行った講義、講習、講演、職員・関係者等に対する指導等

オ 「5 その他」

- ① 大学教育の改善に関する団体等での活動、教育実績に対する表彰等
- ② 国家試験問題の作成等

※上記の例にとらわれず、幅広く記載してください。

(5) 「職務上の実績に関する事項」の例

ア 「1 資格、免許」

- ① 専門分野に関連する資格、免許

イ 「2 特許等」

- ① 特許、実用新案等で専門分野に関連するもの

ウ 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」

- ① 大学との共同研究
- ② 企業提携・研究開発等の担当実績

- ③ 各種審議会・行政委員会等の委員
- ④ 行政機関における調査官等
- ⑤ 研究会・ワークショップ等での報告や発表
- ⑥ 調査研究、留学、海外事情調査等
- ⑦ 上記を裏付ける報告書、手引書、マニュアル、雑誌等

エ 「4 外部資金獲得実績」

- ① 科学研究費補助金（代表者として採択された研究課題について、種別、研究課題名、研究期間（年度）、金額（総額）を記入）
- ② 各種競争的資金等（代表者として採択された研究費について、研究費名、研究課題、研究期間（年度）、金額（総額）を記入）

オ 「5 その他」

- ① 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
- ② 論文の引用実績等

※上記の例にとらわれず、幅広く記載してください。

## 5 「研究業績等に関する事項」の欄

「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。

### (1) 「著書、学術論文等の名称」の項

ア 研究等に関連する主要な業績を「（著書）」、「（学術論文）」、「（個展・作品発表等）」、「（その他）」の項目に適切に区分し、各業績を**発表順に（過去から現在まで）通し番号を付して**記入してください。

イ 著書については、書名を記入してください。

ウ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関誌、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨（修士論文、博士論文など）を明記してください。また、査読付きの論文については、題名の後に「（査読付）」と記載してください。

エ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。

### (2) 「単著・共著の別」の項

ア 当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。なお、発表学会等の場合は、「一」を記入してください。

イ 個展、作品発表、学会発表、講演会等について、単独である場合は「単独」、

共同発表者がある場合は「共同」と記入してください。

(3) 「発行又は発表の年月」の項

著書、学術論文、個展、作品等の発行又は発表年月を記入してください。

(4) 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項

ア 著書については、発行所を記入してください。

イ 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を記入してください。

ウ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を記入してください。

エ 個展、作品発表等については、開催場所を記入してください。

(5) 「概要」の項

ア 当該著書、学術論文、個展、作品発表等の概要を**200字程度**で記入してください。

イ 当該著書等が共著の場合には、自身の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入するとともに、自身の氏名（下線を付すこと）を含め著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）を当該著書等に記載された順に記入してください。また、自身の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。

【例】共同研究につき本人担当部分抽出不可能、など

なお、外国語で著されている場合、その外国語で記入するとともに（ ）として訳文を記入してください。

ウ グループ展等出展者が複数の場合は、自身の氏名（下線を付すこと）を含め、全員の氏名（多数の場合は主要な出展者の氏名）を記入してください。

エ 作品が雑誌等に掲載された場合や、作品に対する評論や取材記事がある場合は、出版物名、号数、掲載ページ数、出版社名を記入してください。